

地域連携ワーキンググループ委員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
三重大学 災害対策プロジェクト室	准教授	かわぐち じゅん 川口 淳	1号委員
三重県防災対策室	室長	ほりえ としみつ 堀江 俊充	2号委員
津市防災危機管理室 防災危機管理課	課 長	まつもと なおし 松本 尚士	3号委員
鳥居町第1自治会	会 長	いかわ くにろう 井川 邦朗	4号委員
鳥居町第2自治会	会長 (連合副会長)	ほしあい たかき 星合 隆毅	4号委員
鳥居町第3自治会	会 長	はつとり たつや 服部 龍弥	4号委員
三重大学施設部企画チーム	チーム リーダー	すぎうら たけひで 杉浦 毅秀	5号委員
三重大学施設部管理チーム	チーム リーダー	おおいし まさひこ 大石 正彦	5号委員
三重大学施設部計画チーム	チーム リーダー	たかにし みづぐ 鷹西 貢	5号委員

学校内ワーキンググループ委員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
三重大学教育学部	教 授	手塚 和男 てづか かずお	1号委員
三重大学教育学部 附属小学校	教 頭	小川 雅弘 おがわ まさひろ	1号委員
三重大学 災害対策プロジェクト室	准教授	川口 淳 かわぐち じゅん	2号委員
三重大学医学部 附属病院救急部長	准教授	武田 多一 たけだ たいち	2号委員
三重大学施設部企画チーム	チーム リーダー	杉浦 毅秀 すぎうら たけひで	3号委員
三重大学施設部管理チーム	チーム リーダー	大石 正彦 おおいし まさひこ	3号委員
三重大学施設部計画チーム	チーム リーダー	鷹西 貢 たかにし みつぐ	3号委員

「人と防災未来センター」視察報告

● 観察日

平成20年12月10日(水)

● 場所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

● 参加者

20名 : 検討委員 学校内WG員 学生
地域連携WG員 自治会 施設部

● 観察内容

13:00～14:45 防災未来館見学
14:45～15:30 セミナー

● 写真



防災未来館



ひと未来館



参加者



見学前の説明(映像)



被災時の街の状況



被災状況の映像



被災時の体験・展示・説明



洪水ハザードマップ



耐震実験・液状化実験見学

検討委員会等開催概要

検討委員会開催概要

- 第1回 ○平成20年11月10日
 - ・委員紹介
 - ・委員長選出
 - ・防災機能強化の推進モデルの主旨について
 - ・附属学校の概要について
 - ・検討委員会の進め方について
 - ・ワーキンググループについて
- 第2回 ○平成20年12月19日
 - ・学校内ワーキンググループの報告
 - ・地域連携ワーキンググループの報告
 - ・附属学校園の現状調査等について
 - ・「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」骨子（案）について
- 第3回 ○平成21年2月4日
 - ・学校内ワーキンググループの報告
 - ・地域連携ワーキンググループの報告
 - ・合同ワーキンググループの報告
 - ・「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」報告書について
- 第4回 ○平成21年3月2日
 - ・防災関係協定等について
 - ・「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」報告書について

学校内ワーキンググループ開催概要

- ・第1回 平成20年11月26日
- ・第2回 平成21年1月14日

地域連携ワーキンググループ開催概要

- ・第1回 平成20年11月25日
- ・第2回 平成20年12月3日
- ・第3回 平成21年1月15日

合同ワーキンググループ開催概要

- ・第1回 平成21年1月28日

視察調査開催概要

- ・平成20年12月10日（人と防災未来センター）

講演会開催概要

- ・第1回 平成20年12月12日
- ・第2回 平成20年12月15日

ワークショップ開催概要

- ・第1回 平成20年12月15日
- ・第2回 平成21年1月7日

タウンウォッチング開催概要

- ・平成21年1月8日（附属学校周辺及びハザードマップ作成）

自然災害に備えて、 防災マップをつくりました



MIE UNIVERSITY
三重大学 施設部

平成21年1月8日(木)三重大学は、地域の方々と密接に、「防災マップづくり」を行いました。開発町第1、2、3自治会役員、三重大学教員、三重大学生らがメンバーとなって、地図や島水書など自然災害に関する知識を学び、タウンウォッチングを行い、防災マップをつくりました。

「タウンウォッチング」って何ですか？

タウンウォッチングとは、みんなで自分たちのまちを見て歩き、災害が起きたとき危険な場所や危険なところなどを調べることです。地域で災害が発生したことをイメージしながら実際にまちを見て歩くことで新たな発見ができます。また、みんなで話し合いながらまとめて歩くことで、共通の災害对策への理解が得られます。



防災マップができました



立派な情報を探して歩きました



「防災マップ」を作つてみよう！



タウンウォッチング後に防災マップを作成すると、より地域への理解が深まります。みんなで調べたことを地図にまとめてみましょう。写真を貼ったり、コメントを書き入れたりしてまとめます。まとめた後は、それを見るながら、みんなで問題や課題、対策などについて話し合いましょう。

「三重大学教育学部附属小学校」は、津市の地域避難所になっています。

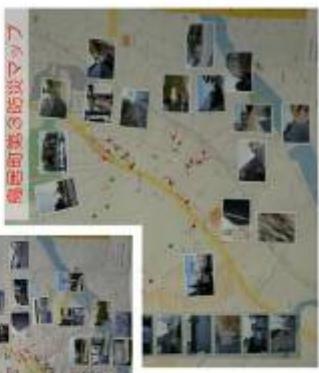
津市は、東海・東南海・南海地震をはじめとする地震や震源地に指定されています。三重大学教育学部附属小学校、「精正小学校」などが指定されています。今後のタウンウォッチング、防災マップづくりは、三重大学と地域の方々が協働して、地域の防災力を高めるために実施しました。



協力して防災マップをつくりました



防災マップができました



津市防災マップ



津市防災マップ



通学路マップ
津駅から附属まで
学舎も確認済み！

地域のみなさんへのお願い

防災マップづくりは、これで終わりではありません。できるだけ多くの人に möchten、気がついでどこぞんぐ地図の上に追加しましょう。また、時間がたって状況が変わることもあります。防災訓練のなどで定期的にマップの修正を行うことも大切です。



防災に関する教職員意識アンケート

文部科学省委託事業「学校施設の防災機能強化の推進モデル事業」を推進するために、大規模災害（特に東海地震、東南海・南海地震）の発生を想定し、教職員の防災に関する意識と備えについての基礎的資料を得るためのアンケート調査を実施することにしました。

つきましては、アンケート調査について、ご協力をいただきますようお願いします。

アンケートは、個人として又、大規模災害を想定して回答してください。

※次の設問の該当するところに丸印をつけてください。(又は記入してください。)

【東海地震、東南海・南海地震について】

設問1 あなたは、駿河トラフ、南海トラフを震源とする東海地震、東南海・南海地震に関心がありますか。(ひとつだけ○)

- 1. 非常に関心がある
- 2. 少し関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. まったく関心がない

設問2 津市が、「東南海・南海地震に係る地震防災対策推進地域」に指定されていることを知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

設問3 東海地震は、現在のところ予知の可能性がある唯一の地震です。東海地震の前兆現象と見られる異常現象が発見された場合には、東海地震に関する情報（観測情報・注意情報・予知情報）や警戒宣言が出されます。あなたは、このことを知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 知っているし、意味も分かっている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

【住まいの対策について】

設問4 現在のお住まいの所有区分はどのようにになっていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 持ち家（親族所有を含む）
- 2. 借家（アパート等を含む）

設問5. 家（持ち家、借家等）の地盤の状況（軟弱地盤、盛り土、切り土等）を知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

設問6. お住まいの構造はどのようにになっていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 木造
- 2. 鉄筋コンクリート造
- 3. 鉄骨造
- 4. 分からない
- 5. それ以外（ ）

設問7. あなたのお住まいは、昭和56年5月31日以前に着工された建物ですか
(ひとつだけ○)

1. はい 2. いいえ 3. わからない

設問8. 市、町が行う無料の木造住宅耐震診断制度があることを知っていますか。
(ひとつだけ○)

1. 知っている → 設問9へ 2. 知らない → 設問14へ

設問9. 耐震診断を行いましたか。 (ひとつだけ○)

1. はい → 設問11へ
2. いいえ → 設問10へ

設問10. 市・町が行う無料の耐震診断を受けない理由は何ですか。 あてはまるものすべてに丸印をお願いします。 →回答後は設問14へ

1. 昭和56年6月以降に建てた建物に住んでいるから
2. 耐震診断を受けて補強工事が必要と言われても、その費用を負担できないから
3. 申し込む手続きがめんどうだから
4. 部屋の中をみられるのが、いやだから
5. 必要と思わないから
6. 診断結果により、役所等から補強工事を義務づけられないか不安だから
7. 共同住宅（あるいは借家）なので自分だけでは決められないから
8. その他

設問11. 耐震診断により、耐震性があると判定されましたか。 (ひとつだけ○)

1. はい → 設問14へ 2. いいえ → 設問12へ

設問12. 耐震性がなかつたため、耐震補強を行いましたか。 (ひとつだけ○)

1. はい → 設問14へ 2. 今後行う予定 → 設問14へ
3. いいえ → 設問13へ

設問13. 耐震補強を検討していない理由は何ですか。 あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 補強は必要ないと考えているから
2. 補強工事はめんどうだから
3. 多額の費用がかかるから
4. 将来のリフォーム時に補強すればいいと考えているから
5. 今後建て替え・転居の予定があるから
6. 誰に相談していいか分からないうから
7. その他 ()

設問14. ご自宅の部屋の状況について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 玄関に出入りの障害となるものを置いていない
2. 家具の下敷きになる位置で就寝していない
3. 家具などの転倒防止対策は実施済みである
4. 窓ガラスや家具のガラス扉に飛散防止フィルムが貼ってある
5. 洋服ダンスや食器棚などの観音開きの扉に、地震動で簡単に開かないようなフックなどが取り付けてある
6. 棚やタンスの上から重いものが落ちてこないようにしてある
7. カーテンやカーペットは難燃性または防炎性のものを使用している
8. 耐震自動消火装置のついたストーブを使用している（またはストーブを使用していない）
9. 照明器具の落下防止対策をとっている
10. 火災報知器を取り付けている
11. 何もしていない
12. その他（ ）

【日頃の防災対策について】

設問15. ご自宅での備えについて、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

注) 非常持出品については、賞味期限や品質保持期限のチェックも実施している場合に限ります。

1. 消火器や消火バケツなどの消防器具を備え付けている
2. 非常持出品として、食料関係（飲料水、レトルト食品など）を準備している
3. 非常持出品として、衣類関係（防寒具、下着、毛布など）を準備している
4. 非常持出品として、日用品（携帯ラジオ、懐中電灯など）を準備している
5. 非常持出品として、貴重品（現金、通帳、印鑑など）を準備している
6. 何もしていない（準備していない）
7. その他（ ）

設問16. ご自宅のある地域の地震発生時の危険度について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 避難勧告・指示が伝達される経路や方法を知っている（広報車、防災無線、町内会長からなど）
2. 家の周辺の崖地やため池、河川などの危険個所を確認してある
3. 東海地震や東南海地震が発生したとき、津波による浸水の危険のある地域かどうか知っている
4. 三重県や市町が作成したハザードマップを確認した
5. 何も知らない

設問17. 三重県では、気象情報や全国の地震情報などの防災情報を「防災みえ.jp」のメール配信サービスで登録者にお知らせしています。あなたは、このことをご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. メール配信の登録をしている
2. 知っているが、メール配信の登録はしていない
3. 以前に登録をしていた
4. 知らない

設問18. 避難所について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 自宅付近の避難所の名称、位置を知っている
2. 自宅付近の避難所までの経路を歩いたことがある
3. 自宅付近の避難所までの経路で、ブロック塀など地震発生時に転倒、倒壊などの恐れがあるものがないか確認してある
4. 自宅付近の避難所までの経路が家屋やブロック塀などの倒壊により遮断された場合の、迂回路を確認してある
5. 自宅付近の避難所の名称等、何も知らない

設問19. 通勤経路・方法等について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 東海地震の警戒宣言が発せられた場合に、通勤するための公共交通機関が停止するかどうか知っている(注：公共交通機関を利用して通勤する方)
2. 通勤経路にブロック塀など地震発生時に転倒、倒壊などの恐れのあるものがないか確認してある
3. 通常の通勤手段が使えないときの代替手段を検討してある
4. 何もしていない

【地域での防災活動について】

設問20. 居住地域での防災訓練への参加状況について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 地域で実施されている防災訓練に参加したことがある
2. 地域で実施されている防災講習会や防災の勉強会に参加したことがある
3. 今後、地域で実施される防災訓練・防災講習会などに参加したいと思う
4. 地域で実施されている防災訓練や講習会に参加したことがない

【家族との連絡方法について】

設問21. 家族同士の話し合いや申し合わせについて、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。(注) 同居されている家族がいない場合でも、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

1. 家族全員（あなたを含む）が災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を知っている
2. 地震が発生した場合の家族の集合場所や連絡方法を決めてある
3. 家族の中に災害時に支援が必要となる人（避難の際に手助けがいる。など）がいる
4. 上記「支援が必要となる人」がいる場合、災害時の避難方法などを話し合っている
5. なにもしていない
6. その他（ ）

【災害時における教職員としての行動等について】

設問22. 勤務時間外における緊急出動の基準をご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問23. 「三重大学防災ガイド」をご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問24. 緊急出動後にまず何をすべきかをご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問25. 大規模災害時に、あなたが行う業務や事務をご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問26. 緊急出動時に必要な携行品を準備されていますか。(ひとつだけ○)

1. はい →設問27へ
2. いいえ →設問28へ

設問27. 設問26で「はい」とお答えの方は、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。（又は記入してください。）

1. 着替え（下着、タオルなど）
2. 懐中電灯
3. 食料、飲料水
4. 筆記用具
5. 携帯ラジオ、電池
6. 携帯電話
7. デジカメ
8. メモ帳
9. 各課で作成したマニュアル
10. ビニール袋（トイレ用として）
11. その他（ ）

設問28. 職場に食料や飲料水を準備されていますか。(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問29. 職場付近（自席の近く）にある消火器、消火栓の位置をご存知ですか。
(ひとつだけ○)

1. はい
2. いいえ

設問30. 職場までの日常の交通手段について、あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

- 1. 自動車
- 2. 電車（JR又は近鉄）
- 3. バス
- 4. バイク
- 5. 自転車
- 6. 徒歩
- 7. その他（ ）

設問31. 日常の交通手段で、職場までどれくらいかかりますか。(ひとつだけ○)

- 1. 15分未満
- 2. 15分～30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間以上

設問32. 設問30で、自動車、電車（JR又は近鉄）、バスに丸をした方のみお答えください。

あなたが想定する日常の交通手段以外（バイク・自転車・徒歩など）で、職場までどれくらいかかると思いますか。(ひとつだけ○)

- 1. 15分未満
- 2. 15分～30分未満
- 3. 30分～1時間未満
- 4. 1時間～2時間未満
- 5. 2時間以上

設問33. 教職員への防災研修は十分だと思いますか。(ひとつだけ○)

- 1. はい
- 2. いいえ

設問34. 教職員の防災意識を高めていくためには、どのような取組みが必要だと思われますか。あてはまるものすべてに丸印をお願いします。

- 1. 専門家を招いての研修会や講習会
- 2. 被災した自治体の職員を招いての研修会や講習会
- 3. 災害を想定した非常緊急出動訓練・防災訓練など
- 4. 災害を想定した図上訓練
- 5. その他（ ）

※図上訓練とは・・・

訓練参加者には事前にシナリオが知らされない中で、時々刻々と付与される災害情報への判断と対処措置を実施させる訓練です。

この訓練の目的は、災害対応の手順・要領・マニュアルなどを確認し、訓練後に検証を行って、今後の防災体制に生かしていくことです。

設問35. 附属学校の防災対策全般（防災計画上の役割など）やあなたの防災対策上の役割などについて、問題と感じていることがありましたらご記入願います。

最後に次のことについて、お答えください。（必須項目）

※該当するところに丸印をつけてください。（又は記入してください。）

●あなたの所属する学校園名を記入してください。

部名【
】

※記入例 附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校、附属幼稚園

●あなたの職種は 教員・教諭・事務・保健師・栄養士・調理士・業務員

●あなたの性別は 男性・女性

●あなたの年代は 10代・20代・30代・40代・50代以上

●あなたの職級は 校長（園長）・副校長・教頭・教諭・事務系職員

以上で、調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

